

ストロップ・ザ・死亡事故

あなたが交通安全の主役です

県内で発生した交通事故の死者数が、8月21日に300人を超えました。これは、昨年比で29日早いペースです。市内の死亡事故は減少していますが、死者のうち半数以上は65歳以上の高齢者となっています。

県内の高齢者の交通事故死者は、8月末現在における、県内の交通事故死者数は312人。これは昨年の同時期より29人増えており、全国でワースト2位となっています。

県内の高齢者の交通事故死者は 昨年に比べ43・3パーセント増加

このうち65歳以上の死者は91人で、昨年に比べ43・3パーセント増加(全国では2・1パーセント)しています。

市内でも、今年に入ってから、事故で亡くなった7人のうち、4人は高齢者でした。年をとると、反射神経や運動能力が、衰えがちとなり、このことが事故の原因となる場合があります。また、高齢者が自動車の運転をする際や歩行時に、信号無視や無理な横断など、基本的な交通ルールを守らなかったことが原因の事故も多くなっています。

また、歩行中のお年寄りに対しては一時停止や徐行などをし、その通行を妨げないようにしてください。思いやりのある運転を心がけるようにご協力をお願いします。



高齢者マーク

問合せ

船橋警察署 ☎350110
船橋東警察署 ☎670110
交通安全対策課 ☎362292



県内の交通事故は約17分に1件、死亡事故は約19時間に1件発生しています。悲惨な事故を防ぐために皆さんのご協力をお願いします(写真は船橋警察署提供)

9月21日(日)～30日(火)

秋の全国交通安全運動が実施されます

～反射材 着けてあなたを 光らせて～



昨年の全国交通安全運動で

市民の皆さんに交通安全の知識を広め、交通事故防止の徹底を図ろうとする運動です。期間中は交通安全ドライバー教室や、各種交通指導・取締り、交通安全高齢者スポーツ大会などが行われます。

〈重点目標〉

1. 高齢者の交通事故防止
2. シートベルトの着用の徹底
3. 夜間事故の防止
4. 自転車の通行マナーの向上

市内の人身事故の約6割が 交差点か交差点付近で発生

今年、市内で発生した人身事故のうち、約6割が交差点か交差点から30メートル以内の場所が発生しています。そして、これらの原因は、信号無視や一時停止、横断歩行者妨害、わき見運転などとなっています。

また、歩行中のお年寄りに対しては一時停止や徐行などをし、その通行を妨げないようにしてください。思いやりのある運転を心がけるようにご協力をお願いします。

また、歩行中のお年寄りに対しては一時停止や徐行などをし、その通行を妨げないようにしてください。思いやりのある運転を心がけるようにご協力をお願いします。

新しい東消防署前原分署が 10月1日にオープン



スロープやエレベーターなどを取り入れ、誰にでも利用しやすい設計となっています

10月1日(水)、新しい東消防署前原分署が、県道船橋我孫子線沿い(前原西1-6-1)にオープンします。

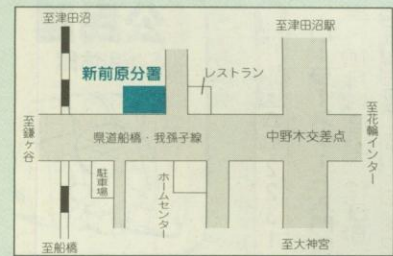
建物には鉄筋コンクリート3階建て。耐震性、耐火性に優れた安全性の高い施設で、総工費は約3億9000万円です。敷地面積は約1030平方メートル、延べ床面積は約1170平方メートルとなっています。

また、地域防災コミュニティ活動の核となる施設として、3階には、市民の皆さんを対象とした消防や救急に関する講習会などが開催できる会議室が設けられています。

市では、昭和24年4月に消防本部を設置以来、消防施設や車両の強化・拡充を進めてきました。今後も火災等の災害時に、消防ポンプ車や救急車等が効率的に運用できるよう適性配置に努めていきます。

また、今回の移転に伴い、東船橋出張所は廃止され、消防団器庫に改修される予定です。

市では、昭和24年4月に消防本部を設置以来、消防施設や車両の強化・拡充を進めてきました。今後も火災等の災害時に、消防ポンプ車や救急車等が効率的に運用できるよう適性配置に努めていきます。



また、今回の移転に伴い、東船橋出張所は廃止され、消防団器庫に改修される予定です。

